

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	岐 阜 県
-------	-------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	岐阜県吉城郡古川町立古川中学校			フロンティアチャー	中 口 清 浩	
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	5	2	17	33
生徒数	165	182	181	2	530	

研究の概要

1. 研究主題

学ぶ喜びがもてる授業づくり ~ 個に応じた指導と評価の工夫 ~
---------------------------------

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

実施学年・教科	
全学年・全学級・全教科で実施	
本校の研究主題は、全教科にあてはまることであるため。	
少人数指導実施学年・教科	
数学 全学年	2学級を3つに分けるか3学級を4つに分ける方法で実施。 習熟度を加味した希望制で分ける。
英語 3年生	1学級を2つに分ける方法で実施。 習熟度を加味した希望制で分ける。
理科 3年生	1学級を2つに分ける方法で実施。 習熟度、仮説・考え方、興味・関心、実験方法等で分ける。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 学ぶ喜びがもてる授業づくり ~ 個に応じた指導と評価の工夫 ~</p> <p>研究の見通し(仮説) 各教科の授業において、個に応じた指導と評価の工夫を行うことにより、生徒一人一人が 学ぶ喜びや楽しさを実感することができる。そして、学ぶ意欲を高めながら学力が向上する。 この確かな学力が、さらなる学ぶ喜びへとつながる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 単元指導計画 ・単元の構造を明らかにし、本時のねらいを位置付けた単元指導計画の作成 ・単元におけるつきたい力や本時でつきたい力を明らかにし、評価規準を位置付けた単元指導計画の作成</p> <p>(2) 個に応じた指導と評価の工夫 個に応じた指導 授業形態の工夫 ・さまざまな学習形態を適切に用いることによる個に応じた指導の工夫</p>
--------	--

	<p>(一斉指導、少人数指導、T Tによる指導、グループ学習、ペア学習等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明確な意義付けによる学習形態の選択 手だての工夫</li> <li>・ 個に応じた教師の援助のあり方の工夫 (特に、つまずきの見られる生徒への援助を中核としながら、より発展的な学習への援助も考える。)</li> <li>・ 生徒同士による学び合いや相互援助のあり方の工夫</li> </ul> <p>個に応じた評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身が自らを評価する方法の工夫(自己評価の工夫)</li> <li>・ 課題化につながる評価の工夫(分からないことやできないことを明らかにする)</li> <li>・ 次の課題化につながる評価の工夫(分かったことやできるようになったことを明らかにする)</li> <li>教師の個に応じた評価をする方法の工夫</li> <li>・ より確かに生徒一人一人を評価する工夫</li> <li>・ 生徒の相互評価を促す工夫</li> </ul> <p>(3)学習集団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価表の活用</li> <li>教科系の育成</li> <li>学習委員会による全校体制での取り組みの強化</li> <li>学習班による各学級の学習姿勢向上への取り組み強化</li> <li>終わりの会における教科の反省をもとにした学級の学習姿勢の向上</li> </ul>
--	--

平成16年度	<p>テーマ</p> <p>学ぶ喜びがもてる授業づくり ～ 個に応じた指導と評価の工夫 ～</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <p>各教科の授業において、個に応じた指導と評価の工夫を行うことにより、生徒一人一人が 学ぶ喜びや楽しさを実感することができる。そして、学ぶ意欲を高めながら学力が向上する。 この確かな学力が、さらなる学ぶ喜びへとつながる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1)単元指導計画の工夫・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の構造を明らかにし、本時のねらいを位置付けた単元指導計画の作成</li> <li>・ 単元におけるつけたい力や本時でつけたい力を明らかにし、評価規準を位置付けた単元指導計画の作成</li> </ul> <p>(2)個に応じた指導と評価の工夫・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた指導の工夫・改善</li> <li>授業形態の工夫・改善</li> <li>さまざまな学習形態を適切に用いることによる個に応じた指導の工夫 (一斉指導、少人数指導、T Tによる指導、グループ学習、ペア学習等)</li> <li>・ 明確な意義付けによる学習形態の選択 手だての工夫・改善</li> <li>個に応じた教師の援助のあり方の工夫 (特に、つまずきの見られる生徒への援助を中核としながら、より発展的な学習への援助も考える。)</li> <li>・ 生徒同士による学び合いや相互援助のあり方の工夫</li> <li>・ 授業が深まる発問や練り合いのあり方の工夫</li> </ul> <p>個に応じた評価の工夫・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身が自らを評価する方法の工夫(自己評価の工夫)</li> <li>課題化につながる評価の工夫(分からないことやできないことを明らかにする)</li> </ul>
--------	---

次の課題化につながる評価の工夫（分かったことやできるようになったことを明らかにする）

教師の個に応じた評価をする方法の工夫

- ・ より確かに生徒一人一人を評価する工夫（C B、B Aへの評価）
- 生徒の相互評価を促す工夫

(3) 学習集団の育成

授業評価表の活用

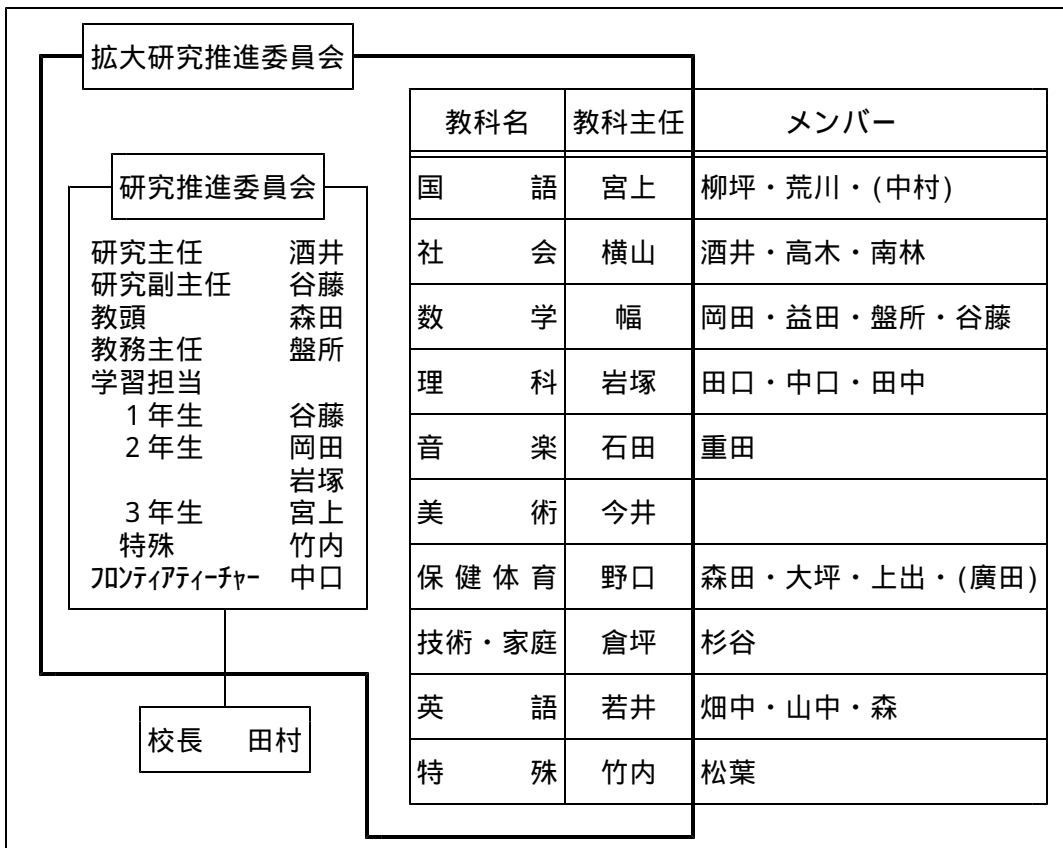
教科系の育成

学習委員会による全校体制での取り組みの強化

学習班による各学級の学習姿勢向上への取り組み強化

終わりの会における教科の反省をもとにした学級の学習姿勢の向上

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

(1) 単元指導計画の工夫

- ・ 本時だけでなく、単元を見通して生徒がどんな姿になれば良いのかを考えることができた。
- ・ 評価規準を位置付けた単元指導計画の作成を推進することができた。

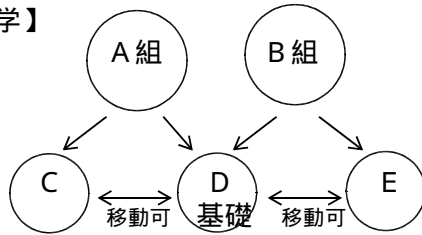
(2) 個に応じた指導と評価の工夫

個に応じた指導の工夫

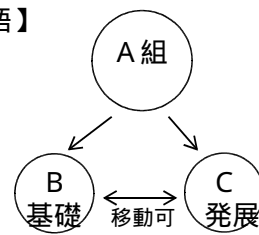
- ・ 少人数で授業をすることによって、今まで意見を出せなかった生徒が、意見を出せるようになり、一人一人が安心して学べるようになってきた。
- ・ 生徒同士の教え合い学習や個別学習ができるようになってきた。
- ・ ねらいにせまるために、授業形態を工夫することができるようになってきた。
- ・ さまざまな授業形態を試行錯誤する中で、個別指導、一斉指導、ペア学習やグループ学習の良さを理解することができるようになってきた。
- ・ どの教科においても、少人数指導の良さを取り入れた授業の工夫が見られるようになってきた。

- 3つの教科で少人数の編成による指導ができた。

【数学】



【英語】



【理科】1つの学級において、習熟度別、学習内容や課題、学習方法などに応じて、2つの集団を編成。

個に応じた評価の工夫

- 自己評価カードなどで学習内容が明らかになり、生徒自身が、見通しや課題を持って取り組めるようになってきた。
- 見通しを持つことにより、学習に向かう意欲や興味関心が高まってきた。
- 本時の課題と評価とは一体のものであり、本時のねらいと直接結びついているものであることが明らかになってきた。(課題と評価の一体化)
- 生徒の実態を十分把握すること(教師の事前評価)が、授業でつきたい力を明らかにすることにつながり、「なぜこの授業を仕組まなければならなかったのか」という授業の必然性を明らかにすることができた。
- 生徒のためのものと考え作成した生徒の自己評価表が、教師自身の授業評価表となり、授業を工夫することができるようになってきている。
- 評価方法を工夫することにより、生徒一人一人を色々な角度から評価することができるようになってきている。

### (3) 学習集団の育成

- 各学級の教科係、学習班、学習委員が連携した取り組みとして、全校体制で終わりの会の反省をするようになってきた。
- 学習班としての願いが班ポスターにも現れてきた。
- 学習委員の取り組みとして、各自の学級の実態に応じてより良くなるよう、工夫をした取り組みをするようになった。
- 教科係が、「前の授業は、発表が少なかったので、みんなに発表するよう働きかけたいと思います。」と言うようになってきた。
- 終わりの会で、全ての教科係から発表があった後、学習班のメンバーや学習委員がコメントを言うようになってきた。これは、今年度の前期学習委員会の取り組みの中から生まれたものである。この取り組みを始めて、学習委員の中から次のような言葉が出てくるようになった。

「私たちは、毎日一日の授業の反省を言うようにしているけれど、これを始めたせいで、授業中などにみんなの姿を見ることができるようになりました。」

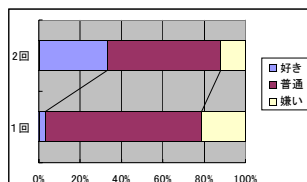
- 教科係との連携をより図ろうとし、教科係の指導を意識できた。
- 学級担任が教科係の反省を聞くことによって、学級の学習に向かう姿勢を把握することができ、学級経営に活かすことができた。

### (4) その他(教師の資質向上)

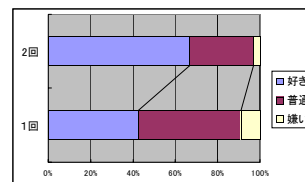
- 教科部会を何度も開くことによって、深く教材研究をすることができたり、教科の本質を討論し合うことができたりして、教師一人一人がレベルアップする機会となった。

### (5) アンケート調査より(4月と10月の比較)

国語



理科



- 全ての教科というわけではないが、その教科を好きと答える生徒が増えてきている。

## 2. 今後の課題

### (1) 単元指導計画の工夫・改善

- ・ 単位時間において、生徒の思考からはなれた課題を設定し、意欲が高まらない授業になることがある。そこで、単元の構造図を十分検討し、単元指導計画を作成する必要がある。
- ・ 単元におけるつきたい力、本時でつきたい力をさらに明らかにし、十分吟味された評価規準を位置付けた単元指導計画を作成する。

### (2) 個に応じた指導と評価の工夫

#### 個に応じた指導の工夫

- ・ 一斉指導の良さを大切にしながら、少人数指導の要素をさらに取り入れた授業を工夫する。
- ・ 授業内容が深まる発問やねり合いのさせ方などの工夫を考える。生徒同士の教え合いや意見交流のさせ方、発言がどんどん膨らむような場の作り方などを検討する。
- ・ 編成上の課題として、少人数指導において、教師と生徒・保護者の思いが一致する方法を考える。
- ・ 少人数指導において、教室の整備や時間割編成の課題を解決する。

#### 個に応じた評価の工夫

- ・ 生徒の学習意欲高まる自己評価表の工夫・改善をする。
- ・ 評価を生かして授業の改善につなげる。そのために、以下の4点を考慮する。
  - (ア) 生徒一人一人の目標達成感、仲間と共に学んだ充足感の把握
  - (イ) 生徒の良さや可能性を伸ばす評価
  - (ウ) 生徒に自信と誇りをもたせる評価
  - (エ) 教師自身の指導方法の工夫・改善
- ・ アンケート調査より(4月と10月の細かい分析から)  
「楽しくない」と答えていた生徒たちが「楽しい」という解答に変わってきている。反面、「楽しい」と答えていた生徒が何人か「楽しくない」という解答に変わっている。これを学習面としてとらえると、Cの生徒をBにという取り組みだけでなく、Aの生徒もさらに伸ばすための工夫が必要である。  
さらに、個に応じる指導の工夫を追究する。

学校生活が楽しいですか？					
	楽しい	まあまあ楽しい	普通	あまり楽しくない	楽しくない
4月	1 2 3	2 0 8	1 4 7	3 6	6
10月	1 4 5	1 6 9	1 5 1	3 0	1 3

### (3) 学習集団の育成

- ・ 各学級の教科係、学習班、学習委員が、学習集団がさらに良くなるよう、連携を強化することや独自の工夫ができるよう指導する。
- ・ 安心して自分の考えを発表することができる学級の仲間づくり、雰囲気づくりに、担任と教科担任が連携を強めて取り組む。
- ・ 仲間と学び合う喜びを感じるための方策を考える。特に、生徒同士の発言がつながり深まり合う学習集団を育成する。

学力把握のための学校としての取組

知能テスト・観点別学力テスト（4教科）
・時期 4月（入学時）
・対象 1年生
・目的 生徒一人一人の学力を把握し、指導に活かすため
実力テスト
・時期 3学期（2月初め）
・対象 全学年
・目的 学習の定着の状況を把握するため（より客観的に） 3年生は他に3回実施（高校入試に向けての学習状況把握のため）
定期テスト
・時期 1学期期末（6月）・2学期中間（10月）・2学期期末（11月） 3学期期末（3年生は1月・他は2月）
・対象 全学年
・目的 学習の定着の状況を把握するため
アンケート調査
・時期 4月・10月・2月
・対象 全学年
・目的 学校生活全般についての意識や姿勢を調査するため

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

中間公表会の実施
・期日 平成15年12月18日（木）
・場所 吉城郡古川町立古川中学校
・対象 飛騨地区小中学校
・目的 研究成果の普及のため
フロンティアティーチャーとしての活動実績
・研究成果の普及のためにHPの作成

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                         10～12学級  
                                  13～15学級                       16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無